

上田市 五中「旧校舍お別れ見学会」に400人！ 卒業生や保護者・地域の人々が多数参加

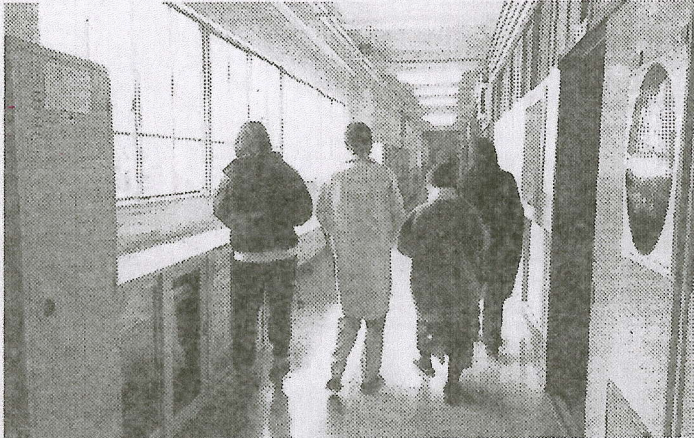
上田市立第五中学校（上田市上野）では、校舎改築工事がまもなく始まることから「旧校舎お別れ見学会」を10日・17日の土曜に実施。卒業生

や保護者、地域の人々が、大勢訪れ、それぞれの思い出とともに親しんだ学び舎を見て回った。同中学校は市・村合併により、旧神科中学校と

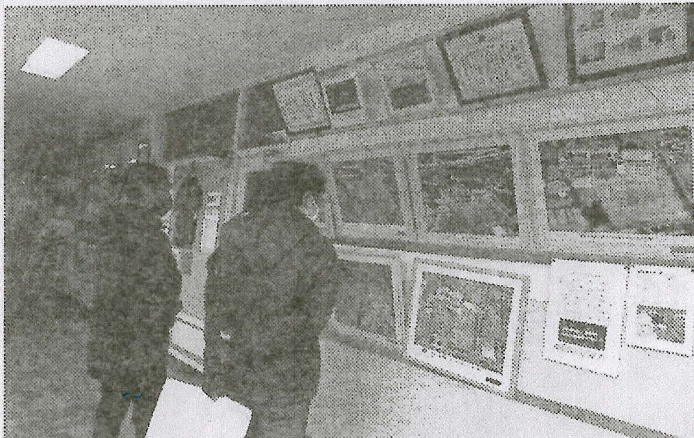
旧豊殿中学校を統合して創立。昭和38年に新校舎2棟および講堂・体育館が完成し、同年5月20日に開校した。昭和58年には第三棟が竣工、平成10

年には部室などが竣工。時を経て老朽化が進んだことから、改築されることとなった。

今年度から令和8年度にかけて工事が行われ、年明けの1月から第三棟（美術室・音楽室）と部室などの解体工事が始まり、令和5年度には体育館が解体されて新校舎建設工事が始まる。



卒業から10年ほどが経った仲良しグループ。県外者や、赤ちゃんを抱っこした人もいる



過去の写真を懐かしそうに見入る。「いとこ同士です。年は違うけど…」と話した

見学会は「地域に支えられ・親しまれてきた、五中の歴史ある校舎が取り壊される前に、ゆかりの人々に訪れてもらおう」と、実施したもの。通学区域に広報したところ、県外在住の卒業生らにも伝わり、同級の仲間や部活の先輩・後輩、家族ら、両日共に200人ほど、計400人を超える人が見学会に訪れ、在校当時を懐かしむ笑顔の花が咲いた。見学者の多くが足を止めて見入ったのが、校長

室前の昔の学校写真だ。創立30周年、35周年と、周年記念に学校全体を写したもので「この頃だ！」と在校時の写真を見ながら、思い出を語り合っていた。表彰盾・カップ・トロフィーを収めたケースの前では、卒業生が「卓球部で優勝したどこにあるかな？」と栄光を懐かしむ姿も…。

宮澤良雄教頭は「開校当時のことを話してくださる人もいた。現教員が知らないことを色々教えていただき、あらためて地域とのつながりの深さを感じました」と言い、「新しい校舎も大事に次へと繋げていきたいです」と話した。

上田市AMU初の試み
外国籍市民のアート展
サントミューゼで開催

22日まで

上田市在住の外国籍市民の絵画・写真作品を紹介